

〇〇〇〇〇著 （書籍執筆者名 12pt・ボールド）

『書籍タイトル 14 pt・ボールド』

—サブタイトル 12 pt』

出版社名、刊行年、定価＋税、〇〇〇頁

田中雅一（執筆者名 12 pt）*

1 様式

【1行あけ】

A4サイズ1枚（40字×38行）で3～8枚程度とします。和文はMS明朝、欧文はCentury。英数字は半角。

本文、参照文献は10.5pt、タイトル14ptボールド、サブタイトルと執筆者名12pt、章見出しは11ptボールド、節見出し以下は10.5ptボールド。脚注、所属、図表キャプションは9ptとします。

2 構成

書評：編・著者名、書名、副題、版数、出版地（海外出版のみ）、出版社、刊行年、定価総、頁数、目次（目次は本文中に掲載）

※いずれも1頁下の欄外に名前の英語表記、所属機関、メールアドレス（公開希望者のみ）を掲載する。

3 章立て

章は1、2（半角）……、節は1-1、1-2、2-1、2-2……、その下は、1-1-1、1-1-2……とします。数字の後に点をつけず、全角スペースを入れて見出しを記入します。

原稿では章の前後は1行あけ、節の場合は節の前を1行あけてください。

4 引用

本文中に参照文献からの文章を引用する場合は、頭を2文字下げて記載してください。

* TANAKA Masakazu 所属機関名 メールアドレス（公開希望者のみ）

8 図・表・写真

執筆者がパソコンで作製したものをそのまま使用します。トレース等加工が必要な場合実費をご負担いただきます。

タイトル（キャプション）は図の下、表の上、写真の下にそれぞれ 9pt でつけます。引用なら出典を明らかにし、執筆者が作製または撮影したものについては明記してください。

9 特殊文字、外字

原則、入力した文字をそのまま掲載しますが、間違いのないよう別途大きめのサイズで見本をつけてください。

10 <参照文献>（参照文献という語を用いる。参考文献、引用文献、文献等は不可）

参照文献は論文末に一括して記載してください。脚注としての記載は不可とします。

参照文献とは、本文中または脚注において引用した文献をさします。

原書は外国語文献でも論文執筆に参照した文献が邦訳版であれば、邦訳版を記載します。

インターネットで検索して参照した資料については<参照文献>の後ろにまとめて掲載してください。

ただし、新聞・週刊誌等の記事の引用は文末の参照文献表には入れず、脚注にのみ掲載してください。

10-1 文献の配列

和文、英文、その他の順に分けて記載してください。

和文文献の場合は著者姓の 50 音順、外国語文献はアルファベット順とします。また、邦訳文献の場合、著者名の原綴をカタカナ表記の 50 音順としてください。

10-2 表記

10-2-1 文字

本文と同じ 10.5pt です。英数文字は半角。

外国語文献の単行本、雑誌名はイタリックにしてください。

ページ数をつなぐ記号は半角ハイフンを使用。（例 pp. 89-121）

10-2-2 2行目以下

文献記載が 2 行以上にわたる場合、2 行目以下は行頭を 1 文字分空けてください。

10-3 複数の著者、編者、訳者による文献

人数にかかわらず et al.などで省略せず、全員を表記してください。外国語文献の場合、名前をアルファベットで省略しません。

10-4 出版地

外国語文献の場合は出版社とともに、出版地を明記。(例 London: Routledge)

10-5 例

<参照文献>

◆雑誌論文

著者名 発行年 「論文タイトル」『雑誌名』巻(号): ページ数。

石井美保 2010 「神霊との交換—南インドのブータ祭祀における慣習的制度、近代法、社会的エイジェンシー」『文化人類学』75(1): 1-26。

◆本に掲載された論文

著者名 発行年 「論文タイトル」編者名『著書名』出版社名、pp.ページ数。

菅原和孝 2007 「狩り=狩られる経験と身体配列—グイの男の談話分析から」菅原和孝編『身体資源の共有』弘文堂、pp. 89-121。

田中雅一 2015 「スリランカの民族紛争と宗教—ソーシャル・キャピタル論の視点から」櫻井義秀・外川昌彦・矢野秀武編『アジアの社会参加仏教—政教関係の視座から』(現代宗教文化研究叢書)北海道大学出版会、pp. 309-336。

◆単行本

著者名 発行年 『著書名』出版社名。

風間計博 2003 『窮乏の民族誌』大学教育出版。

◆邦訳文献

著者名(カタカナ) 発行年 「論文タイトル」編者名『著書名』訳者名、出版社名、ページ数。

レバー、ジャネット&ディーン・ドルニック 2004(2000) 「客、コール・ガール セックスと親密さを求めて」ロナルド・ワイツァー編『セックス・フォー・セール—売春・ポルノ・法規制・支援団体のフィールドワーク』松沢呉一監修、岸田美貴訳、ポット出版、pp.126-146。

【外国語文献との間は1行空ける】

◆雑誌論文

著者名 発行年 論文タイトル. 雑誌名 巻(号): ページ数.

Ishii, Miho 2013 Playing with Perspectives: Spirit Possession, Mimesis, and Permeability in the Buuta Ritual in South India. *Journal of the Royal Anthropological Institute(N.S.)*.19: 795-812.

◆本に掲載された論文

著者名 発行年 論文タイトル. In 編者名 ed.(複数なら eds.) 著書名. 出版地: 出版社名, pp.ページ数.

Coleman, Simon 2004 From England's Nazareth to Sweden's Jerusalem. In Simon Coleman & John Eade eds. *Reframing Pilgrimage: Cultures in Motion*. London: Routledge, pp.45-68.

◆単行本

著者名 発行年 著書名. 出版地：出版社名.

Tanaka, Masakazu 1997 *Patrons, Devotees and Goddesses: Ritual and Power Among the Tamil Fishermen of Sri Lanka*. Columbia: South Asia Books; 2nd Revised.

11 インターネット資料

<参照文献>の後ろにまとめて記載し、必ず閲覧日を明記してください。

例

インターネット資料

総務省統計データ

<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2005/index.htm> 2014年12月14日閲覧。

2018年3月28日改訂

2017年5月29日改訂